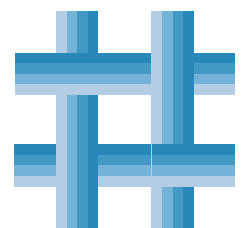
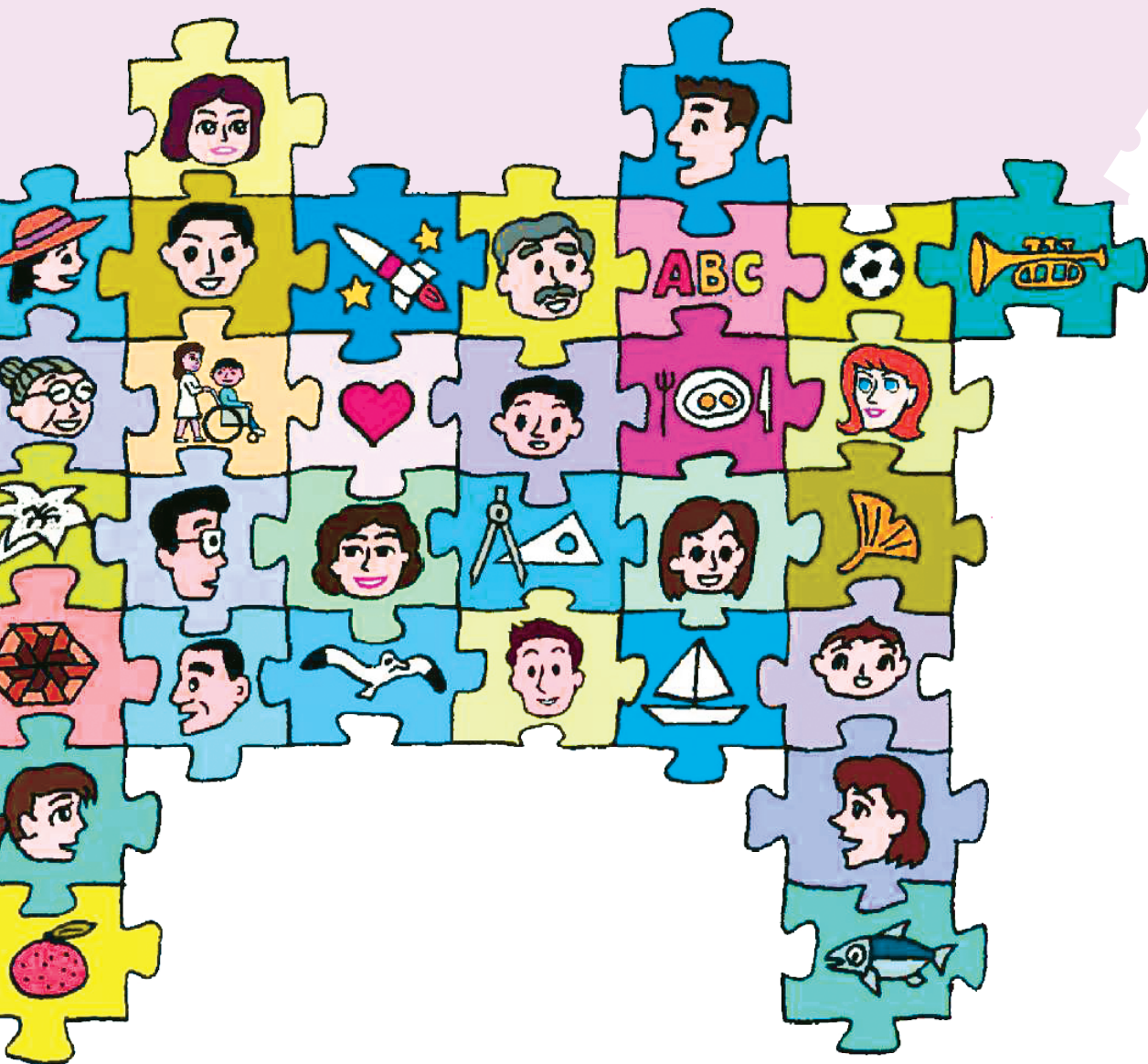


かながわ教育ビジョン

心ふれあう しなやかな 人づくり



平成 19 年 8 月策定
平成 27 年 10 月一部改定
令和元年 10 月一部改定

ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- フォーラムやワークショップ等を通じて、多くの県民の皆様と、幅広く継続的に議論を展開しながら、平成 19 年 8 月に策定したものです。
- 平成 19 年から概ね 20 年間を見すえた、本県の教育の総合的な指針です。
- 「人づくり」を、一人ひとりの「自分づくり」を支援していく営みととらえ、子どもから大人まで「生涯を通じた人づくり」を重視しています。
- 県としての取り組みだけでなく、学校や市町村、家庭や地域、企業やNPOなど、様々な方々と、共感・共有に基づく、「協働・連携による人づくり」を進めることを大切にしています。
- 本県の総合計画の実施計画に位置付けた教育施策と「かながわ教育ビジョン」とを併せて本県の教育振興基本計画としています。

基本理念

未来を拓く 創る 生きる 人間力あふれる かながわの人づくり



激しい変化が予想されるこれからの時代にあっても、子ども一人ひとりが、その資質や能力を十分に発揮して生きることができるよう、しっかりとはぐくんでいくことが大切です。

なかでも、夢や希望に向かい、自らを律して困難を乗り越え、未来をたくましく切り拓くことや、自己と社会の未来を創る強い意志をもち、変化をおそれず主体的に行動すること、さらに、自己への自信と人への思いやりをもって、心豊かでしなやかに生きることのできる力を備えることが重要です。

そのためには、まわりの人から「大切にされて

いる」と感じながら、育てられることが必要です。そこから生まれる安心感や信頼感に根ざして、自らをありのままの姿で受容できる自己肯定感をはぐくんでいくことが必要となります。

また、教育にかかわるすべての人々には、個のニーズに応じた多様な支援を充実していくことが求められています。

このような考え方をもとに、自立した一人の人間をめざす自分づくりと、社会の構成員としてよりよい社会づくりにかかわる総合的な力を人間力ととらえ、かながわの人づくりの視点として基本理念を掲げています。

第1章 教育ビジョン策定の背景

神奈川県教育を取り巻く現状と課題を整理

第2章 基本理念・教育目標

神奈川県がめざす教育の姿を明示

第3章 人づくりの視点

生涯を通じた人づくりにおける段階と目標、地域・学校などのかかわりを整理

第4章 展開の方向 平成27年10月改定

人づくりを展開するための県の方向性を体系的に整理

第5章 重点的な取組み 令和元年10月一部改定

県の重点的な取組みを明示

神奈川県としての取組み

第6章 教育ビジョンの推進 令和元年10月一部改定

ビジョンの推進の取組みについて明示



社会の状況が変化していく中、国の「第3期教育振興基本計画」が平成30年6月に閣議決定されたことや、県の総合計画である「かながわグランドデザイン第3期実施計画」が令和元年7月に策定されたことを踏まえ、令和元年10月にかながわ教育ビジョンを一部改定しました。

令和元年一部改定の Point

主に第5章について、国の「第3期教育振興基本計画」や「かながわグランドデザイン第3期実施計画」と整合を図る項目を記載するとともに、制度の変更や取組みの進捗状況などに伴う時点修正を行いました。

第1章 教育ビジョン策定の背景

策定にあたり、踏まえるべき社会状況や教育をめぐる現状と課題を明らかにするとともに、人づくりに必要な観点を整理しました。

1 社会状況の変化

かながわでは少子高齢化が進行し、人口減少社会の到来が見込まれます。国際化や情報化はますます進展し、多様な働き方が広がる中で、産業・就業構造は変化しています。一方で、地方分権改革を推進する取組みが進み、多様な主体との協働・連携の拡大への期待も高まっています。

2 教育をめぐる現状と課題

子どもの思いと育ちの姿を、家庭、地域、学校などのまわりの大人がしっかり見つめ、かかわっていくことが重要ですが、家庭の教育力が低下し、地域の連帯感も希薄化してきたと考える人が多くいる中で、学校も様々な教育的ニーズへの対応が求められるなど、それぞれに課題を抱えています。また、生涯を通じた「学び」への対応も必要です。

3 人づくりにおいて踏まえるべき視点

人づくりにあたり、個人として、また社会の構成員として身に付けていく必要のあるものには、時代を超えて変わらない価値のあるもの（不易）と時代の変化に柔軟に対応して身に付けていく必要のあるもの（流行）があります。また、人づくりはその人ひとりを育てるにとどまらず、かかわる他の人の自分づくりにも生かされ、世代を超え、循環しながら次の社会の形成に大きな影響を与えます。この人づくりが現代の社会状況の中で、真に効果をあげるには協働・連携を進めることがたいへん重要となります。

※「人づくり」とは、「絶えず自らを磨き、新たな自分へと更新していく、『自分づくり』を支援していく営みです。

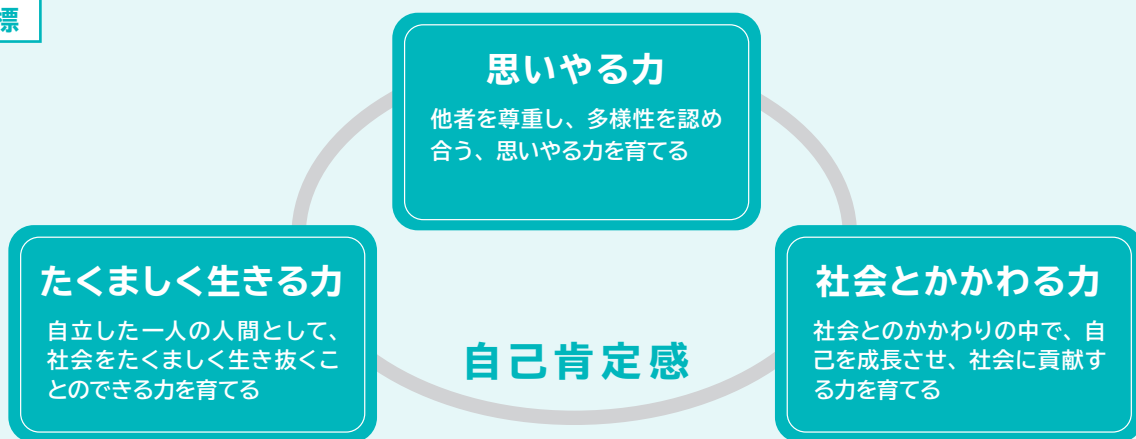
第2章 基本理念・教育目標

※基本理念を実現するために、すべての人が身に付けていきたい「人間力」の内容を「めざすべき人間力像」に整理し、教育目標として掲げています。

基本理念

未来を拓く・創る・生きる ^{ひら}人間力あふれる かながわの人づくり

教育目標



実現に向けた手だて

今こそ大事な心ふれあう経験

「ふれあい教育」をさらに進め、人や社会と深くかかわり、「心ふれあう」喜びを十分に味わう

よりよく生きるための「行動の知」を

教科の学習や様々な体験を生かし、よりよく生きるために行動できる力を身に付ける

心ふれあう しなやかな 人づくり

- 一人ひとりを大切にする柔軟な対応と、教育ビジョンに基づく揺るぎない教育の展開
- 人々や社会とかかわり、「思いやる心とたくましさ」をもった人の成長に向けた願い

第3章 人づくりの視点

人の成長・発達に即して、多様な資質・能力や「人間力」を獲得していくためには、様々な教育の主体の役割が重要です。

『つむぐ おりなす』協働による取組みの推進」は、県民との教育論議の成果として導き出されたものです。家庭、地域（NPO法人などを含む）、学校・保育所、企業、市町村、そして県の主体ごとに、それぞれの役割と具体的な取組みの方向性を、発達段階ごとにイメージとして示しています。



第4章 展開の方向

基本方針

1.

かながわの教育力を生かした生涯にわたる自分づくりの取組みを進めます

2.

新たな教育コミュニティを創造し、活力ある地域づくりを進めます

3.

少子化などに対応した家庭での子育て・教育を支える社会づくりを進めます

4.

子ども一人ひとりの個性と能力を大切に、共に成長する場としての学校づくりを進めます

5.

生涯にわたる自分づくりを支援する地域・家庭・学校をつなぐ教育環境づくりを進めます



SDGs (持続可能な開発目標) の 理念を踏まえた取組みの推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標 (SDGs エス・ディー・ジーズ) とは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

I. 生涯学習社会における人づくり

主な取り組み例

- 人生 100 歳時代における生涯学習への支援
- キャリア教育、シチズンシップ教育の推進
- 学校での防災教育の推進



II. 共生社会づくりにかかわる人づくり

主な取り組み例

- インクルーシブ教育の更なる推進
- 医療的ケアの充実



III. 学びを通じた地域の教育力の向上

主な取り組み例

- 社会教育施設等の施設開放の充実
- 地域学校協働活動の推進
- コミュニティ・スクールの充実



IV. 子育て・家庭教育への支援

主な取り組み例

- 放課後子ども教室、土曜日の教育活動の推進
- ファミリー・コミュニケーション運動の展開



V. 学び高め合う学校教育

主な取り組み例

- ESD (持続可能な開発のための教育) の推進
- グローバル化や情報化に対応した教育
- キャリア教育・職業教育の充実



VI. 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり

主な取り組み例

- 教員研修の充実
- 学校評価等を活用した学校経営の推進
- 中学校夜間学級設置に係る支援
- 県立高校改革の推進



VII. 県立学校の教育環境の改善

主な取り組み例

- 県立学校の校舎等の耐震・老朽化対策の推進
- 教員の働き方改革の推進



VIII. 文化芸術・スポーツの振興

主な取り組み例

- 未病改善の取組みの推進
- 社会教育施設等での展覧会や講座の充実
- スポーツ活動の推進



かながわ人づくりコラボ

神奈川県教育委員会では、県民との論議の場として、毎年「かながわ人づくりコラボ」を開催し、取組みの推進状況などをもとに、県民の皆様と検証を行い、課題解決に向けた今後の方向性について議論しています。これからの人づくりのためにも、皆様のご参加をお待ちしています。

かながわの「学び」は人づくり。自分づくり。

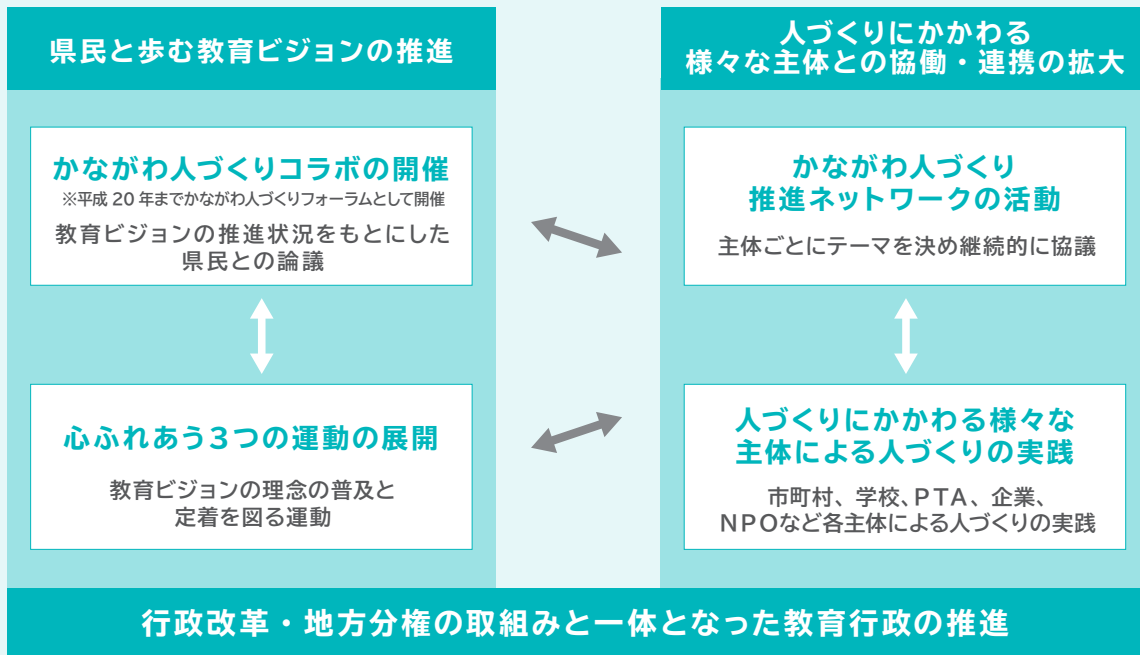
かながわ教育月間 10月1日～11月3日

教育ビジョンの策定過程においては、県民との教育論議を大切に、フォーラムやワークショップ、教育イベントなどを継続的に開催しながら、県民論議や各関係団体との意見交換などに取り組んできました。

今後の教育ビジョンの推進過程においても、「かながわ人づくりコラボ」を設け、推進状況などをもとに、県民と検証を行い、課題解決の方向性についての論議をするなど、県民との関係を重視した取組みを進めます。

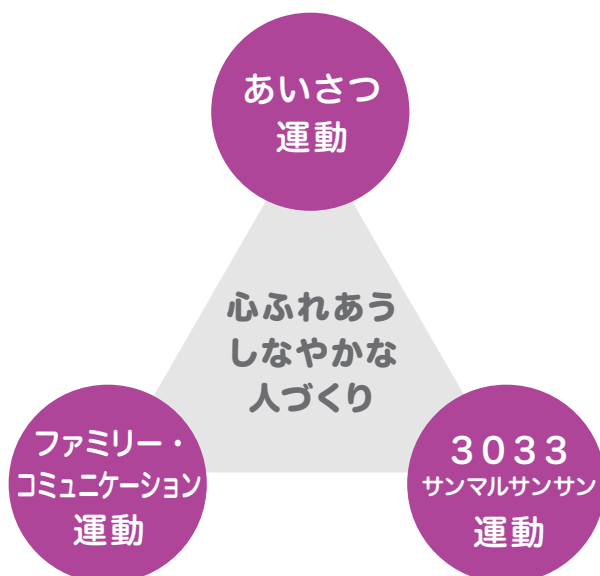
また、学校や家庭、地域などで、様々な主体と教育ビジョンを共有し、効果的な取組みが進められるよう、継続的に協議を行う場として「かながわ人づくり推進ネットワーク」を設置し、協働・連携を拡大していきます。

さらに、教育ビジョンの推進にあたっては、行政改革や地方分権の取組みなどと一体的に進めます。



心ふれあう3つの運動

「かながわ教育ビジョン」で掲げた人づくりの理念が、多くの方々と共感・共有され、協働・連携が一層進むよう、これらの運動を「心ふれあう3つの運動」として取り組みます。



あいさつ運動

家庭、地域や学校でのあいさつを励行する運動です。各学校が特色を生かし、あいさつを通じて、子どもたちの社会性やコミュニケーション能力を高める取組みを推進しています。

ファミリー・コミュニケーション運動

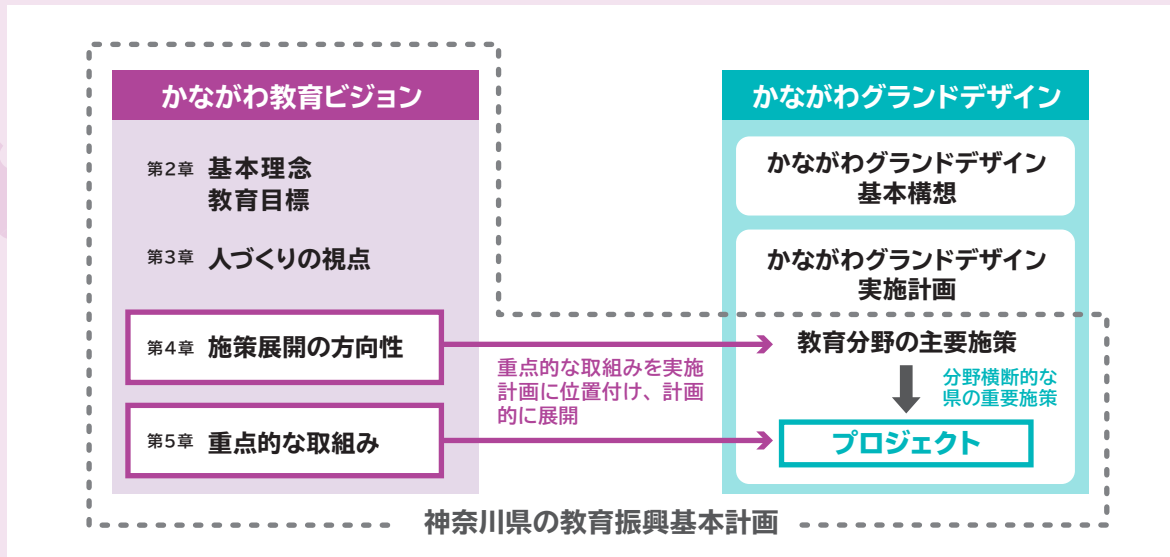
県民の皆さんが、家族でのコミュニケーションを大切にし、子どもたちが自分の気持ちを表現する力や相手を思いやる気持ちを育む運動です。毎月第1日曜日を「ファミリー・コミュニケーションの日」とし、施設優待やイベント等を実施しています。

サンマルサンサン

3033運動

県民の皆さんが、スポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を送っていただけるよう、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、習慣化していただく運動です。

かながわ教育ビジョンに関する計画等について



教育振興基本計画と教育ビジョンの関係

神奈川県では、国の教育振興基本計画を参酌し、本県の教育の総合的な指針となる「かながわ教育ビジョン」と、本県の総合計画（令和元年度現在「かながわグランドデザイン」）の実施計画に位置付けた教育施策とを併せて、本県の教育振興基本計画としています。

総合計画「かながわグランドデザイン」と教育ビジョンの関係

「かながわ教育ビジョン」は、県の総合計画（令和元年度現在「かながわグランドデザイン」）における教育分野の個別計画（指針）として、基本理念、人づくりの視点、施策展開の方向性を示しており、具体的な施策・事業は、総合計画の実施計画に位置付けています。本県では、2019（令和元）年に「かながわグランドデザイン第3期実施計画」※が策定されました。

※ 第3期実施計画は2025年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2019～2022年度の4年間に取り組む政策を示したものです。

県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などをまとめた「主要施策・計画推進編」と、喫緊の課題に対応するため先進性や発展性などをもった重点施策を分野横断的に取りまとめ、ねらいや具体的な取り組みなどを示した「プロジェクト編」で構成しています。

かながわ教育大綱

地方公共団体の長は、国の教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定める「大綱」を策定することとなっています。本県では、令和元年7月に知事により新たな「かながわ教育大綱」が策定されました。

かながわ教育ビジョンに係る個別計画

- かながわ読書のススメ
- 神奈川県いじめ防止基本方針
- 教職員人材確保・育成計画
- 県立高校改革基本計画
- 県立高校改革実施計画
- 県立学校施設再整備計画
- 神奈川県文化財保存活用大綱
- かながわ部活ドリームプラン 21
- 神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ！かながわプラン」



かながわ教育ビジョンの全文は、県のホームページでご覧になることができます。

神奈川県教育委員会教育局総務室 教育ビジョン・広報グループ

231-8509 横浜市中区日本大通33 電話 045-210-1111 [内線:8078・8079]

かながわ教育ビジョン

検索



私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

Kanagawa committed to SDGs

SDGs 未来都市 神奈川県



令和2年3月